

けやき

第33号(2012年夏号)

発行日:平成24年8月
発行者:心健導場主宰 天明
住所:〒167-0052
杉並区南荻窪2-7-12
TEL:03-3334-2527

宮崎県出身。深層心理学・哲学・東洋医学を研究し、1992年にその集大成<3と97>の理論を著書「いのち」に著した。現在、企業、団体、カルチャースクール等でトータルヘルスマネジメントの講演活動を行う。東京荻窪にて主宰する「心健導場」では、どこに行っても解消されなかった心身の悩みを持つ方から、自己能力を開発したい方に、「こころ」と「からだ」のカウンセリングを行っている。

天明 てんめい
心健導場主宰



2012年7月5日、1つのニュースが世界中を駆け巡りました。それは、「ヒッグス粒子とみられる新粒子を発見」というニュースです。みなさんはこの発見をどう捉えておられますか。ヒッグス粒子と聞いても、なんだか難しくて分からない。多くの方がそうでしょう。新聞ではこの粒子を「神の粒子」と呼んでいました。簡単に言えば、理論物理学では質量のない素粒子がこのヒッグス粒子によって質量が与えられたと1964年にヒッグス博士が提唱したもので、それが今回実験で「発見」と発表されたのです。

このニュースを、この「けやき」でなぜ紹介するのでしょうか。新春号で、今年のテーマは「3と97の生き方」を知らしめていかねばならない時期が来たと書きました。そしてそれは、「自然(宇宙)を感じ、学び、共存する」ことです、と述べました。この天明の思いと、まさにこの宇宙を物質として誕生させたヒッグス粒子の発見の年と重なったことで、2012年が大きな変化の年であると感じています。

ヒッグス粒子発見のニュースを続けましょう。ここで天明が申し上げたいのは、この世紀の大発見に日本人が深く関わっていることです。このヒッグス博士の理論に大きく貢献したのは、南部陽一郎博士(ノーベル賞受賞者)です。実験でも多くの日本人研究者が関わっていますし、また、今回の実験装置には多くの日本企業が関わり、技術で観測を支えてきました。

この歴史的瞬間に日本人として立ち会っていること、いまのこの時代に生まれていることに感謝したいですね。

目にみえない97をしっかりと意識すること

最先端の物理学である量子力学とは、電子顕微鏡でしかみえない世界を探求する学問です。すなわち、肉眼ではみることのできない世界がどうなっているのかをとらえる学問です。そのためには、「意識の目」でこのみえない世界をみなければなりません。

これは、天明がこれまでお伝えしてきた「3と97」の意味すること、そのままです。

「木の幹」が3で、「根っ子」が97と表現してきました。3がみえる部分、97は土の中にもぐっていますから、みえない部分。樹木はその根っ子をしっかりと伸ばしているから倒れませんが、人間もまた同じ。目にみえない97をしっかりと意識していれば、どんなことがあってもしっかりと立っています。そのために、「みえない力(ちから、パワー)を各々が持っていることを意識しなさい」と、ずっと言い続けて来ました。



☆ 「神の粒子」発見の意味すること

いまの時代、これからの時代ではなおさらです。

天明が言っていたことが、「後になってそういうことだったのか」とは思って頂きたくはありません。

天明とご縁している方々が、こうした意識にいま目覚めてほしいと思います。

口を酸っぱくして申し上げなければならないのは、「いまは目にみえないものによって動かされている」からです。

目にみえないものとは、何のことか、おわかりですか。

大事にすべきは、「ご縁」であり、「絆」であり、「愛」であり、といったみえないものです。その一方、「放射能」や「必ず襲ってくる大地震」といった、目にみえない脅威に日々さらされています。

目にはみえないからわからない、どうでもいい、ではなく、目にみえないものをみようとする努力することです。量子論物理学者はこのみえない世界をなんとかみてやろうと日々取り組んできたのです。このヒッグス粒子発見のために何回、実験を繰り返したと思われますか。実に、1000兆回以上もの実験をくりかえしてきた結果だったのです。

そうすれば、不可能と言われたことも可能になってくるのです。

身近なことで言えば、病気やケガが自然に治る。これもみえない力である免疫力が働いてくれているからですね。ガン細胞も毎日毎日どこかで生まれています。自分の免疫力で自然に無くなっています。こうした力を持っているから、私たちは日々生かされています。

ただただ感謝です。

これを当たり前と思う気持ちが、こうした力を失わせるのです。

免疫さんにとってみれば、「当たり前」と思われるよりも、「感謝」された方が、「よし、がんばろう」という気になりますよね。白血球さんは自らを犠牲にしてウイルスに立ち向かうのですから、「感謝」するのが、むしろ「自然」ですね。



(写真はイメージです。この地球はこの宇宙の中で生かされているのです。宇宙が身近な存在になりつつあることを実感されてください)

みえない世界を意識してきた日本人

もう少し、宇宙の話をしてします。

いまから2年前の2010年にも、世紀の大発見がありました。これは、講演会でも何度もお話してきましたから、おわかりの方もいらっしゃるでしょう。

「暗黒物質(ダークマター)」と「暗黒エネルギー(ダークエネルギー)」の存在が発表されたのです。

宇宙全体の中で我々が目にみえる宇宙としてわかっているのは、たった4.5%。残りは、「暗黒物質が22.9%」、「暗黒エネルギーが72.6%」と、我々が全くわかっていない、未知の存在だということです。

この比率を突き止めたのも、日本人科学者でした。

つまりは、みえる世界4.5、みえない世界95.5。天から天明に降りてきた言葉「3と97」に限りなく近い数字だと思いませんか。

そして科学者によれば、これからの宇宙はこのみえない宇宙が拡がって、いずれはその比率は3と97に近づいていくということです。

このことから気付くべきことは、我々人類は宇宙のすべてを知ったように思っていますが、それはたったの4.5%に過ぎないことだったということです。

現代人はこうして物理的、科学的に証明されないと、何事も素直に受け入れませんが、これこそ、「もったいない」ことです。

自然が発してくれているメッセージに気付く事ができないからです。

本来の日本人は、当たり前のようにみえない世界を意識して、感謝して生きてきました。その日本人としてのDNAを持ちながら、働かせていないのですから、もったいないのです。

困り事があると、神社に行って神様にお祈り、お願いをしますね。神様もみえない存在ですが、いると思うから拝むのでしょう。自分では自然とこういう行動をしているのに、みえない世界の話をすると、これはおかしいと思ってしまうのは、残念なことです。

それは、自分の都合がいい時だけ信じて、後は知らない。そんなことで神様が真剣に困り事を聞いてくれるでしょうか。

本来の日本人は、自然を感じ、そこに神様の存在を感じ、感謝して生きて来ました。それが、「すべてのモノに魂が宿る」とか、「アニミズム」とか、「八百万の神」といった言葉になって、現代に伝え残されてきているのです。

本来の日本人とは、縄文の昔、はるか1万年以上も前から続くDNAです。

現代人の生きる知恵は、縄文がくれる

太古の人たちは、自分の感覚を研ぎ澄まして、日々の生活を生きるしかありませんでした。いまのように気象予報があるわけもなく、警察官がいてくれるわけではありません。自分の本来の力で判断し、行動するしかなかったのです。

言い換えれば、「太古の人たちは人間が本来持っている力(パワー)に気付いていた」と言った方がいいのかもしれない。

そういう能力を持った人でないと、生きてはいけなかったからです。

危険が迫り来るのに、ただボーとしていたのではやられてしまいます。自分の持っている感性をフルに使って危機を察知できる人しか生きてはいけなかった世界だったのです。

そして縄文の人たちが現代人の私たちに教えてくれていることがあります。これは大事なことです。

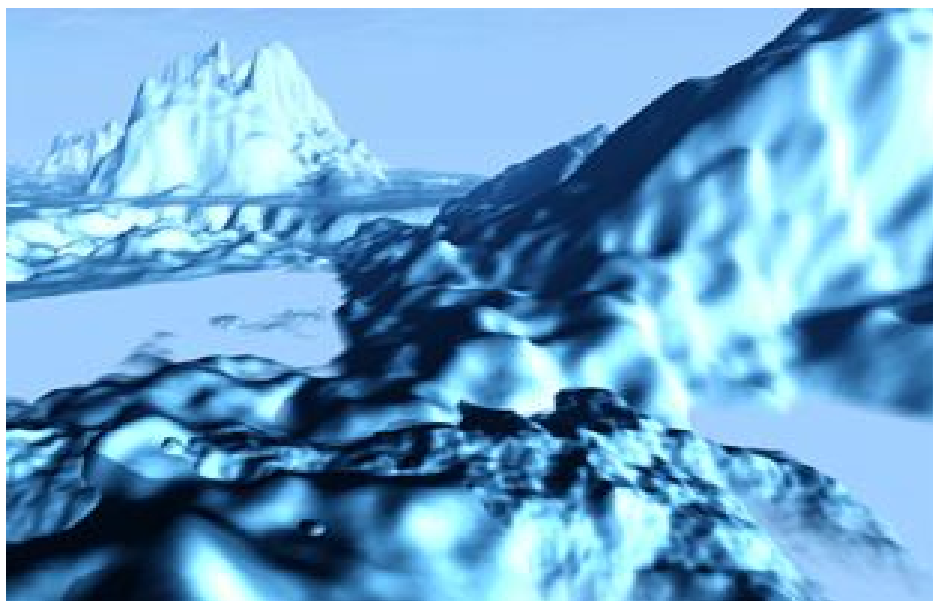
それは、「全てを採り尽くせば後がなくなる」ということです。

食べ物にしても、自分達が必要とする分しか採りませんでした。生態系が壊れるのが恐ろしい。自然のしっぺ返し、自然の恐ろしさを意識できていたからです。

いまは、「欲」のほうが強っていますね。

「もっと、もっと」で採り尽くすから、いろんな生物がいなくなるのです。自然が壊れて行くのです。それは自分で自分のクビを絞めているようなものです。

このことに気付かない人がなんと多いことか。本当に残念なことです。



(写真はイメージです。この日本で縄文時代が始まったころの地球は、氷河期でした。

氷に覆われた世界。日本列島もその氷のために大陸と陸つづきでした。

NPO法人国際縄文学協会の勉強会・縄文講座より)

これからの時代をどうして生きて行くのか

まずは、「もっと、もっと」から止めるべきです。

どのようにこの「欲」を抑えるかで生き方はがらりと変わります。

そして、一番大事なことは、

「自分という存在をしっかりと持つ、知る」ということです。

このままの生活をしていても、困った時には国がなんとかしてくれるだろう、その時になれば、誰かがなんとかしてくれるだろう、と考えている人が多いのではないのでしょうか。

「年金制度、健康保険制度が壊れたら大変だ」。

これが、一番の不安として生きていませんか。

若い人たちは自分達はもらえないことを知っていますから、こうした制度を信用してはいません。新聞や報道がこの「年金問題」で大騒ぎすることはなくなりましたが、これで「安心」していいのではなく、もう本当のことが言えなくなっているからです。

天明から一言申し上げると、「もうこういったものに頼り切って生きるのは止めたほうがいい」ということです。

そして、「自分はこうする」という確たる生き方を持つべき時が来ているのです。

そのためには、「自分はどんな死を迎えたいのか」という覚悟が必要です。

人間は、身分の上下、貧富の差に関係なく、100%の人が死にます。早いか、遅いかの違いだけです。縄文人は平均寿命が25歳でした。現代人は50年以上も長生きしているのです。

これは、天明がこれまでに「全生時の迎え方」といって、みなさまにお伝えしてきたことです。

最近「エンディングノート」を書くことが流行っているようです。自分がどういう死に方をしたいのかを考えねばならない人たちが増えてきたからでしょう。

「万が一、死に直面するような大病になった時にどうするのか」。

みんなが病院、医者だけに頼ろうとするから、医療はパンクするのです。最近、『大往生したけりや医療とかわるな』(中村仁一著、幻冬舎新書)という本が出ました。「ガンは治療しなければ痛まず」、「食べないから死ぬのではなく、死ぬ時が来たから食べないのである」とは、天明が言い続けてきたことをそのまま本にしてくれたようなものです。

自分の治癒力を信じることです。

みえない力(パワー)を意識することです。

これは天明会につながっている方々なら、おわかり頂けると思います。

そしていよいよ今までお伝えしたことが役に立つ時がやってきました。

2012年は、マヤの予言の年です。あと半年間ですが、何があってもおかしくはありません。

その時に「慌てず、焦らず」行動するには、天明が言っていることを思い出してください。一度でも聞いた人ならDNAに入っていますから、自分を信じて行動しましょう。

たった一人が世界をかえるのです。



(8000年前、氷河期が緩んだことで、氷だけの世界に大きな変化が生まれます。氷が解けてそこには海(日本海)ができ、南から対馬暖流と黒潮が流れ込んできます。こうして氷の世界から、雪や雨になり、日本列島に四季が生まれたのです。NPO法人国際縄文学協会の勉強会・縄文講座より)

娘が部屋でつまづいて転び、壁におでこを強打しました。

はじめは、声を出して泣いていたので、おでこを手当てしていたら、「うー」と言ったまま、白目をむいて意識を失ってしまいました。

私は娘が首を痛めたと思い、あわてて救急車を呼びました。救急車が来るまでに、娘の意識は戻ってきて、落ち着いていました。病院での診療は、おでこは軽く赤くなっているだけ。医師からは、手足も普通に動いているし、目もモノを追えているのでたいしたことはない、と言われました。

首のことを聞くと、幼児の首は骨と骨との間があいているからたいへんなことになることはないと言われました。

帰宅してから、天明先生に連絡をし、「すぐに手当てをしてよかったですね。頸椎の6番か7番かもしれないね」と言われました。

翌日、お義母さんが、東京での操法を以前から予約していたので、急きよ、娘も予約してもらいました。

先生に操法していただいたところ、頸椎の7番が少し悪いと言われました。娘もそのあたりを触られると、身体をよじっていました。おでこはうっすらと青っぽくなっており、内出血をしているようでした。「これだけですんだのは、すぐに手当てをしたおかげです。内出血をしたら、すぐに手当てをすること。冷やしてしまうと、血が固まってひどいあざになる。あざは徐々に心臓の方に下りていき、顔にあざがひろがってしまう。だけど、手当は、身体が、温めたり、冷やさなければならぬ時を知っているから、血が固まってあざにならないようにしてくれる」と言われました。

それから先生は、「すぐに手当てができたのは、いつも講演を聞いていたおかげですね。あと、お義母様が操法の予約をして下さっていたおかげで、ぶつけた翌日に操法をうけられたのですよ。早いほうがいいですからね。お義母様に感謝しなさい」と言われました。

お義母さんが操法の予約をしていなかったら、娘の予約もとれず、東京まで操法を受けに行こうとは思いませんでした。

娘にすぐ手当てをした自分に、操法の予約をして下さっていたお義母さんに、わたしたちがそうできるように沢山のことを伝えてくださっている天明先生に、たくさんの感謝をした2日間でした。

これからも天明先生が伝えてくださっていることを実践していけるようにしたいと思います。

ありがとうございました。

会員さんの声 おめでとう！

出産 2012年 2月 9日 豊泉匡範・晴子御夫妻長女

入学 合格	2012年 3月 4月	坂口天音さん 石川菜央さん 青木桜子さん 梅田廉也さん 日室柑汰さん 青木リリカさん 日室夏依さん 宮下神之介さん 宮下惣太さん 松村将太郎さん	高校合格 中学入学 小学入学 小学入学 小学入学 幼稚園入園 幼稚園入園 幼稚園入園 幼稚園入園 幼稚園入園



天明ブログ をご覧ください。

<http://www.tenmei-keyaki.net/>
「心健導場イベント・日記」

天明・活動報告

2012年1月～2012年6月

1月 1日 尖石温泉へ 榊平氏・千恵さんと(～2日)
3日 天祖神社へ初詣
4日 川崎・志楽の湯へ
6日 川崎・志楽の湯へ
7日 アフロデアジアへ 今村氏と
9日 大分～吉野ヶ里遺跡
熊本～阿蘇火口 高千穂
宮崎～椎葉 (～11日)
12日 神田明神初詣 新年会
15日 はちとりクラブへ
18日 酒生氏 英訳依頼 東中野へ
20日 パソコンへ
22日 蓼科ホテル下見
23日 けやきうちあわせ
25日 歯のメンテ 東中野へ英訳の校正
27日 パソコンへ
28日 時代おくれへ 貝瀬氏ご子息来導

(操法) 6日、8日、14日、15日、16日、17日、18日、
19日、21日、22日、23日、24日、25日、26日、
31日

(出張操法) 13日板橋、20日板橋、27日板橋

2月 2日 ミヤテック社長 来導
3日 新橋へ 板谷先生
7日 ブログスタート 英訳受け取りに
8日 手足マッサージ
9日 天明講演会
10日 パソコンへ
松永様宅へ
11日 キャリアコンサルティング 国護り演説大会
15日 佐々木氏と夕食
17日 パソコンへ
18日 活学2周年へ
20日 一般社団法人の件
22日 一般社団法人の件
24日 パソコンへ
25日 南木曾～恵那講演会(～26日)
27日 貝瀬氏へ 内藤氏も
29日 歯のメンテ

(操法) 1日、6日、8日、13日、14日、15日、18日、
19日、21日、22日、23日

(出張操法) 3日板橋、10日板橋、17日板橋、24日板橋

3月 2日 パソコンへ
5日 川原氏と中條氏へ
7日 サイモンケイナー教授の縄文学
8日 天明講演会
9日 パソコンへ 活学塾へ
15日 水是株式会社での講演へ
16日 パソコンへ
19日 手足マッサージ
21日 中條氏自宅へ 手当てする
22日 息吹の会
23日 パソコンへ
24日 パソコンへ 時代おくれへ
25日 空手の試合へ
28日 月刊日本パーティーへ
31日 本田氏へ

(操法) 1日、3日、4日、6日、7日、10日、13日、
15日、22日、24日、26日、27日、28日

(出張操法) 2日板橋、9日板橋、16日板橋、23日板橋

4月 5日 東大駒場へ 古稀祝する
6日 本田氏へ
7日 小田先生縄文講座 飯沼コンサートへ
9日 歯メンテ
11日 歯インプラント下見
12日 天明講演会
13日 パソコンへ 千恵さんと夕食
14日 小田先生縄文講座へ 数理学講座へ
15日 宮崎へ 同窓会ほか
水是紹介(都城、宮崎) (～18日)
19日 川原氏と本田氏へ
20日 パソコンへ
23日 水是説明会
25日 手足マッサージ
板井先生の古代史へ
27日 幸次郎氏 パースデイへ
28日 千恵子コンサートへ

(操法) 3日、4日、5日、7日、8日、10日、11日、
14日、18日、19日、20日、21日、22日、
25日、26日、29日、30日

(出張操法) 2日平河町、4日平河町、6日板橋と平河町
9日平河町、13日板橋、20日板橋、
24日宇都宮病院へ、27日板橋



会員さんの声 おくやみ申し上げます。ごくろうさまでした。

2012年 3月 池田満氏 6月7日 鈴木まゆみさん
4月 榊平美千代さん 7月7日 小黒せんさん
5月17日 松浦成利氏

5月 4日 わが母の記 映画へ
 9日 八交会にて講演
 10日 天明講演会
 11日 パソコンへ
 12日 数理学へ
 13日 いのちの力 映画へ
 14日 手足マッサージ
 15日 本田氏へ
 16日 イー・アグリ(株)へ
 17日 松浦成利氏 死
 18日 松浦成利氏 斎場へ
 20日 松浦成利氏 斎場へ
 21日 金環日食 息吹の会終了 パソコンへ
 22日 松浦成利氏 お通夜
 23日 松浦成利氏 告別式
 24日 音や金時へ 飯沼氏招待する
 25日 全日本女子バレーボール大会へ
 26日 時代おくれ
 27日 杉戸の網本氏へ
 28日 本田氏へ 松永氏を紹介

(操法) 1日、3日、8日、13日、16日、22日、25日、
 26日、31日

(出張操法) 11日板橋、25日板橋

(遠隔操法) 29日恵那

6月 1日 パソコンへ
 2日 孫の運動会へ
 3日 杉戸の田植えへ
 4日 歯点検 ステラへ
 5日 良子さん退院
 7日 アポカード 新しく作成
 8日 古代史セミナー
 9日 小田先生縄文講座
 10日 成城学園 佳子さん
 13日 歯 インプラント下見
 14日 天明講演会 水是セミナー
 15日 パソコンへ
 16日 石岡へ ブルーベリー下見
 17日 税理士先生来導
 18日 府中の松永氏へ
 21日 手足マッサージ
 22日 パソコンへ
 23日 南木曾・恵那講演会
 27日 石岡へ ブルーベリー下見
 30日 松浦様宅へ

(操法) 7日、11日、12日、13日、14日、20日、21日、
 24日、25日、26日、28日、29日、30日

(出張操法) 1日板橋、8日板橋、平河町、15日板橋、
 29日板橋

(遠隔操法) 3日恵那、5日恵那



2012年 天明 講演会

2012年は毎月第2木曜日
 に変更になります

8月 9日(木) 387回
 親が子供をまっすぐ育てる3つの心
 (待つこと、許すこと、願い祈ること)

9月13日(木) 388回
 この子、育てた親みたい
 「はい」と返事のできる子に 口ではなく目でしかる親

10月11日(木) 389回
 「3と97」ってなーに 部分と全体

11月 8日(木) 390回
 「3と97」ってなーに 見える世界、見えない世界

12月13日(木) 391回
 「3と97」ってなーに 宇宙とつながっている、いのち

講演終了後は
 懇親会も行っております。
 ぜひご参加ください。

ホームページから
 参加申し込みができます

18:15受付開始 18:30-20:00終了予定

会場/明治記念館 東京都港区元赤坂2-2-23
 TEL03-3403-1171

アクセス

- ・JR中央線・総武線【信濃町駅】下車、徒歩3分
- ・地下鉄 銀座線・半蔵門線・大江戸線
 【青山一丁目駅】下車(2番出口)、徒歩6分
- ・地下鉄 大江戸線【国立競技場駅】下車(A1出口)徒歩6分